



第26-28号

2026年10月14日

小田急電鉄株式会社

取締役社長 鈴木 滋

本社 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号

(コード番号 9007 東証プライム)

無担保社債発行に関するお知らせ

当社では、2026年10月14日に、機関投資家向けとなる第94回無担保社債（社債間限定同順位特約付）および第95回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）の条件を決定しましたので、発行概要についてお知らせします。

当社グループでは、経営ビジョン「UPDATE 小田急～地域価値創造型企業に向けて～」の下、社会や環境への配慮を重視するサステナビリティ経営により、事業活動を通じた社会・環境課題の解決と地域の持続可能性向上に取り組んでいます。こうした事業活動を一層円滑に進めていくため、2025年11月にはサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しており、第95回無担保社債（グリーンボンド）は、同フレームワークに基づくものです。

記

1 第94回無担保社債

- | | |
|------------|---|
| (1) 社債の名称 | 小田急電鉄株式会社第94回無担保社債
(社債間限定同順位特約付) |
| (2) 発行額 | 金105億円 |
| (3) 各社債の金額 | 1億円 |
| (4) 払込金額 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (5) 利率 | 年2.732% |
| (6) 条件決定日 | 2026年10月14日 |
| (7) 払込期日 | 2026年10月28日 |
| (8) 募集の方法 | 一般募集 |
| (9) 償還価額 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (10) 償還期日 | 2031年10月28日 |
| (11) 償還の方法 | ① 本社債の元金は、償還期日にその総額を償還する。
② 償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前 |

銀行営業日にこれを繰り上げる。

- ③ 本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行うことができる。

(12) 利 払 日 毎年4月25日および10月25日
(初回2027年4月25日)

※ 利息を支払うべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

(13) 担 保 本社債には担保ならびに保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。

(14) 財務上の特約 担保提供制限が付されている。

(15) 財務代理人 株式会社三菱UFJ銀行

(16) 引 受 団 S M B C 日興証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社、および野村證券株式会社

(17) 発行・支払代理人 株式会社三菱UFJ銀行

(18) 申込取扱場所 引受会社の本店および国内各支店

(19) 振 替 機 関 株式会社証券保管振替機構

2 第95回無担保社債（グリーンボンド）

(1) 社 債 の 名 称 小田急電鉄株式会社第95回無担保社債
(社債間限定同順位特約付)（グリーンボンド）

(2) 発 行 額 金215億円

(3) 各社債の金額 1億円

(4) 払 込 金 額 各社債の金額100円につき金100円

(5) 利 率 年3.428%

(6) 条 件 決 定 日 2026年10月14日

(7) 払 込 期 日 2026年10月28日

(8) 募 集 の 方 法 一般募集

(9) 償 還 価 額 各社債の金額100円につき金100円

(10) 償 還 期 日 2036年10月28日

(11) 償 還 の 方 法 ① 本社債の元金は、償還期日にその総額を償還する。

② 償還すべき日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

③ 本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行うことができる。

(12) 利 払 日 毎年4月25日および10月25日
(初回2027年4月25日)

※ 利息を支払うべき日が銀行休業日にあたる場合は、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。

(13) 担 保 本社債には担保ならびに保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。

(14) 財務上の特約 担保提供制限が付されている。

(15) 財務代理人 株式会社みずほ銀行

(16) 引 受 団 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMB C日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社および野村証券株式会社

(17) 発行・支払代理人 株式会社みずほ銀行

(18) 申込取扱場所 引受会社の本店および国内各支店

(19) 振 替 機 関 株式会社証券保管振替機構

(20) 調達資金の主な使途 グリーンボンドで調達する資金は、以下のプロジェクトに充当する予定です。

従来の車両に比べ、高い省エネルギー性能を備えた環境に優しい車両への新造・リニューアルによる置き換え

(例) 通勤車両5000形の新造、通勤車両3000形のリニューアル等



通勤車両5000形

【参 考】サステナビリティファイナンス・フレームワークの策定と外部評価の取得

当社は2025年11月に、社会・環境課題の解決に資する事業への資金調達について、透明性と信頼性を高めるため「サステナビリティファイナンス・フレームワーク」

を策定しました。本フレームワークは、国際資本市場協会（I CMA）が定める「グリーンボンド原則2025」、「ソーシャルボンド原則2025」等に基づき、「調達資金の使途」「プロジェクトの評価と選定プロセス」「調達資金の管理」「レポーティング」の4つの要素を定めたものです。

本フレームワークについて株式会社格付投資情報センター（R & I）から、適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

■ サステナビリティファイナンス・フレームワーク

（URL：https://www.odakyu.jp/ir/sustainability_finance/pdf/framework.pdf）

■ 適合性に対する外部評価（セカンドオピニオン）

（URL：https://www.odakyu.jp/ir/sustainability_finance/pdf/third_party_opinion.pdf）

以 上